



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月14日

上場会社名 株式会社 ピーシーデポコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 7618 URL <https://www.pcdepot.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野島 隆久  
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員経理財務本部長 (氏名) 杉浦 和幸 TEL 045-472-9835  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	19,260	△4.5	1,376	8.1	1,431	7.9	973	8.5
2019年3月期第2四半期	20,157	△4.1	1,273	7.9	1,326	8.0	897	9.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 973百万円 (8.6%) 2019年3月期第2四半期 896百万円 (7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	19.38	19.23
2019年3月期第2四半期	17.87	17.74

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	33,154	24,834	74.8
2019年3月期	33,620	24,159	71.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 24,785百万円 2019年3月期 24,096百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
2020年3月期	—	6.50	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	1.4	2,600	0.8	2,700	0.5	1,780	14.6	35.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	52,622,400株	2019年3月期	52,622,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,301,786株	2019年3月期	2,416,545株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	50,244,566株	2019年3月期2Q	50,194,297株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10
4. 補足情報	11
販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～9月30日)における我が国の経済は、政府の景気対策等を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善により、緩やかに回復が続いております。一方、個人消費においては、持ち直してはいるものの、消費税引き上げに対する心理的な影響や度重なる自然災害の発生など先行きに対する不透明感から力強さを欠いております。

国内コンピューター販売においては、2020年1月に予定されているWindows 7のサポート終了を控え、最新OSであるWindows10への潜在的なニーズが顕在化しており、また10月消費増税前のいわゆる「駆け込み需要」があり9月度は堅調に推移いたしました。また、様々な働き方の変化に伴う需要、eスポーツ人気の高まりによるゲーミングパソコンや周辺機器の需要、小中学校の新学習指導要領への移行に伴うプログラミング学習の影響などから、個人向け需要においてみられた増加の兆しは継続しております。

このような状況下、当社グループは販売、修理、インターネットなどの「デジタルライフ」を全てワンストップでサポートする「スマートライフパートナー化」を継続して進めております。これまでの「困ったを解決」に加え、「プレミアムメンバー様の未来を任せていただく」計画的提案による需要創造を提供する、デジタルライフコンサルティング化を推進し、それに相応しい呼称として「デジタルライフプランナー」の商標を6月に取得いたしました。

店頭販売において「未来デジタルライフ」をお任せいただけるよう、プレミアムメンバー様に対して3名から5名程度のスタッフが専任チームで担当する「プレミアムメンバー様専任担当制」を2018年10月より開始しております。専任担当制は、各々のプレミアムメンバー様に専任の担当者が今後のデジタルライフプランのご提案をすることにより、例えば、使用中のコンピューターから新しいコンピューターへのデータ移行、スマートフォンの買い替え時の電話帳移行、使用中のスマートフォンの格安SIMへのスムーズな移行など、デジタルライフにおけるデバイスを計画的に買い替えることや新たな購入、価値の体験が可能になります。また、それらに加え、家庭内の「休眠資産(使われずに眠っているデバイス等)」となっている、古いコンピューターやスマートデバイスの再活用などを提案することや、デジタルデバイスを総合的に活用していくために、デジタルライフの将来計画を提案することなど、プレミアムメンバー様の持続的なデジタルライフの活性化に取り組みました。販売促進活動においては、前年度に引き続き、宣伝活動を計画的に行ない、一時的な特売など変動が大きいセールやキャンペーンを縮小しております。また、短期雇用を目的とした採用を積極的に行わず、既存スタッフの教育、育成の強化を推進し、時間と費用の多くをその育成に振り向けました。具体的には、計画提案のコンサルティング能力向上、AI・ロボット共生社会における学び方と働き方、社会貢献などの思考訓練を始めとした育成機会に、FACE to FACEを中心に、理念共有に一丸となり取り組みました。

店舗展開においては、第1四半期の2店舗の改装に加え、千葉県鎌ヶ谷市の店舗をピーシーデポスマートライフ店に改装し9月末時点でピーシーデポスマートライフ店は49店舗となりました。また、プレミアムメンバー様が利用するラウンジのリニューアルなど、プレミアムメンバー様にメンバーベネフィットを体感していただくための空間リニューアルを進めております。

ソリューションサービス売上高は前年同期比8.8%減、売上総利益は同3.8%減、販売費及び一般管理費は同5.7%減となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は192億60百万円(前年同期比4.5%減)、営業利益は13億76百万円(前年同期比8.1%増)、経常利益は14億31百万円(前年同期比7.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億73百万円(前年同期比8.5%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

## ①パソコン等販売事業(商品販売・ソリューションサービス販売等)

コンピューター販売において、2020年1月のWindows 7のサポート終了を見据えた買い替え需要、10月消費増税に伴う、いわゆる「駆け込み需要」がありました。働き方の変化に伴う需要、またeスポーツ人気の高まりにより、高性能・高性能かつ高価格帯のパソコンや周辺機器の需要が見受けられます。一方で、スマホ関連のマーケットの縮小は依然として続いており、デバイスの高品質化に伴い、買い替えサイクルも長期化傾向にあります。

こういった状況の中、当社はデジタルライフのサポート・計画的提案・需要創造への移行を継続しました。ソリューションサービスにおいては、折込広告に他店購入品の持ち込みを促す案内を掲載することや「物・商品」を訴求するだけではなく、「コト・需要・要望」を提案する「需要創出型広告」をより進め、プレミアムメンバー様や一般のお客様の利用機会の増加に努めました。プレミアムメンバー様には、引き続きメンバー様優先対応をはじめ、ご本人やご家族の「困ったを解決」だけではない、「未来デジタルライフの計画的提案」をお任せいただけるよう、専任担当者のチームがFACE to FACEのコミュニケーションを通してメンバーベネフィットのご提案を行っております。「コト」と「商品」を組み合わせた「体験型商品」の提供を開始いたしました。例えば「PC部品」と「自作PCの組立という体験」をプレミアムメンバー様とお子様と専任の担当者が一緒に行い、「体験」に価値を見出していただくというものです。こういった「体験型商品」は第3四半期以降も順次ラインナップを「コト」「商品」共に拡げてまいります。また、新規需要には「使い方」や「初期設定」など、初めてでも不安がないよう提案し、他社でご購入されたス

マートデバイス、今お使いのインターネットの不都合やお困りごとなど、無料相談を通して解決し、その先のデジタルライフの計画的提案により需要創造をすることによって、プレミアムメンバー様の増加に努めました。

当第2四半期連結会計期間末における「ピーシーデポスマートライフ店」「PC DEPOT」「PC DEPOTパソコンクリニック」の総店舗数は126店舗となりました。近畿・中国・四国地区においてフランチャイズが運営する「PC DEPOT」は3店舗となります。

以上の結果、パソコン等販売事業の売上高は186億52百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益は14億12百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

#### [店舗数の推移]

	2019年3月31日 の店舗数	期中増減	2019年9月30日 現在の店舗数
ピーシーデポスマートライフ店	46	3	49
PC DEPOT	22	△3	19
PC DEPOT パソコンクリニック	58	-	58
合 計	126	-	126

※上記表は、株式会社ピーシーデポコーポレーション、株式会社ピーシーデポストアーズの合計となります。

※上記表は、フランチャイズが運営する「PC DEPOT」3店舗を含んでおりません。

#### ②インターネット関連事業

インターネット関連事業においては、当社グループが提供するプレミアムサービス関連におけるグループ間業務受託並びにRPAなどによる業務やシステムの自動化等、生産効率改善を進めております。グループ売上高の減少に伴い、売上高は減少いたしました。内製化による外注費の減少及び売上原価の適正化により、セグメント利益は増加いたしました。

以上の結果、インターネット関連事業の売上高は6億7百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益は2億28百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

##### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は331億54百万円であり、前連結会計年度末に比べ4億66百万円減少いたしました。総負債は83億20百万円であり前連結会計年度末に比べて11億40百万円減少いたしました。また、正味運転資本（流動資産から流動負債を控除した金額）は190億7百万円、自己資本比率は74.8%と財務の健全性は保たれております。

##### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の残高は82億92百万円となり、当第2四半期連結累計期間に12億50百万円減少（前年同四半期は3億63百万円の増加）しております。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加額3億53百万円、未払金の減少額2億89百万円、法人税等の支払額が3億86百万円ありましたが、税金等調整前四半期純利益14億42百万円、仕入債務の増加額3億28百万円、減価償却費3億59百万円等により6億77百万円の増加（前年同四半期は22億41百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出4億80百万円及び無形固定資産の取得による支出1億68百万円等により、6億56百万円の減少（前年同四半期は4億23百万円の減少）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において実施いたしました設備投資の総額は5億71百万円であり、これらの資金は自己資金でまかなっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出9億51百万円、配当金の支払額3億21百万円等により、12億71百万円の減少（前年同四半期は14億54百万円の減少）となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に発表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適時開示してまいります。

上記内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,542,682	8,292,597
売掛金	9,039,859	9,393,499
たな卸資産	5,642,629	5,838,489
未収入金	93,623	121,639
その他	433,947	465,125
貸倒引当金	△163,060	△146,114
流動資産合計	24,589,681	23,965,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,956,396	7,272,479
減価償却累計額	△3,714,827	△3,870,663
建物及び構築物(純額)	3,241,569	3,401,816
工具、器具及び備品	2,546,170	2,587,752
減価償却累計額	△2,077,432	△2,138,269
工具、器具及び備品(純額)	468,737	449,482
土地	263,011	263,011
その他	12,329	12,461
減価償却累計額	△7,782	△8,918
その他(純額)	4,546	3,543
有形固定資産合計	3,977,864	4,117,852
無形固定資産		
のれん	27,624	24,374
その他	581,214	619,667
無形固定資産合計	608,839	644,042
投資その他の資産		
投資有価証券	122,299	127,011
繰延税金資産	1,100,189	1,084,955
差入保証金	1,647,013	1,667,327
敷金	1,338,159	1,301,562
その他	285,219	293,960
貸倒引当金	△48,279	△47,095
投資その他の資産合計	4,444,601	4,427,723
固定資産合計	9,031,305	9,189,618
資産合計	33,620,987	33,154,856

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	958,537	1,289,787
1年内返済予定の長期借入金	1,594,113	1,286,200
未払金	1,328,642	906,356
未払法人税等	434,271	499,452
賞与引当金	213,900	225,700
商品保証引当金	119,932	87,710
その他	849,665	662,817
流動負債合計	5,499,061	4,958,023
固定負債		
長期借入金	3,358,050	2,714,950
資産除去債務	434,694	466,989
長期預り保証金	76,279	88,000
長期未払金	93,154	92,813
固定負債合計	3,962,177	3,362,752
負債合計	9,461,239	8,320,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,737,615	4,737,615
資本剰余金	5,005,017	5,005,017
利益剰余金	15,513,980	16,142,812
自己株式	△1,160,574	△1,100,224
株主資本合計	24,096,038	24,785,220
新株予約権	63,709	48,859
純資産合計	24,159,747	24,834,080
負債純資産合計	33,620,987	33,154,856

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	20,157,719	19,260,171
売上原価	10,780,868	10,241,936
売上総利益	9,376,850	9,018,235
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	350,274	309,962
販売手数料	297,177	291,775
役員報酬	105,370	104,567
給料及び手当	2,927,917	2,707,088
賞与	152,118	157,339
賞与引当金繰入額	225,100	225,700
退職給付費用	46,143	49,345
消耗品費	197,481	174,918
減価償却費	372,195	319,201
のれん償却額	1,625	3,250
不動産賃借料	1,243,782	1,212,201
その他	2,184,395	2,085,989
販売費及び一般管理費合計	8,103,581	7,641,339
営業利益	1,273,268	1,376,896
営業外収益		
受取利息	968	972
受取配当金	8	—
販売奨励金	11,728	11,309
受取賃貸料	88,316	115,377
受取手数料	8,960	13,654
持分法による投資利益	2,364	4,712
その他	24,562	20,276
営業外収益合計	136,910	166,301
営業外費用		
支払利息	14,949	10,252
賃貸費用	66,625	91,378
その他	1,976	10,300
営業外費用合計	83,550	111,931
経常利益	1,326,628	1,431,266
特別利益		
投資有価証券売却益	592	—
新株予約権戻入益	—	15,400
特別利益合計	592	15,400
特別損失		
固定資産除却損	12,485	4,471
賃貸借契約解約損	733	—
特別損失合計	13,218	4,471
税金等調整前四半期純利益	1,314,002	1,442,195
法人税、住民税及び事業税	422,776	453,374
法人税等調整額	△5,822	15,233
法人税等合計	416,953	468,608
四半期純利益	897,048	973,586
親会社株主に帰属する四半期純利益	897,048	973,586



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	897,048	973,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△415	—
その他の包括利益合計	△415	—
四半期包括利益	896,633	973,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	896,633	973,586

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,314,002	1,442,195
減価償却費	414,644	359,168
のれん償却額	1,625	3,250
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,397	△18,131
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,800	11,800
投資有価証券売却損益(△は益)	△592	—
商品保証引当金の増減額(△は減少)	△11,170	△32,222
受取利息及び受取配当金	△976	△972
新株予約権戻入益	—	△15,400
支払利息	14,949	10,252
支払手数料	3,000	2,991
為替差損益(△は益)	156	61
持分法による投資損益(△は益)	△2,364	△4,712
固定資産除却損	12,485	4,471
売上債権の増減額(△は増加)	△65,493	△353,640
たな卸資産の増減額(△は増加)	729,973	△195,860
未収入金の増減額(△は増加)	53,108	△28,016
仕入債務の増減額(△は減少)	205,242	328,615
未払金の増減額(△は減少)	△107,550	△289,068
その他の資産の増減額(△は増加)	38,083	△11,731
その他の負債の増減額(△は減少)	172,464	△183,119
その他	16,460	43,395
小計	2,789,448	1,073,327
利息及び配当金の受取額	12	3
利息の支払額	△14,812	△9,790
法人税等の支払額	△533,175	△386,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,241,472	677,332
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△255,057	△480,622
無形固定資産の取得による支出	△111,544	△168,841
事業譲受による支出	△32,500	—
投資有価証券の売却による収入	766	—
敷金及び保証金の差入による支出	△84,750	△58,777
敷金及び保証金の回収による収入	80,745	65,616
預り保証金の受入による収入	6,000	16,800
預り保証金の返還による支出	△5,079	△5,079
その他	△21,839	△25,173
投資活動によるキャッシュ・フロー	△423,258	△656,078
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△1,125,960	△951,013
配当金の支払額	△326,058	△321,295
自己株式の増減額(△は増加)	772	4,023
銀行手数料の支払額	△3,000	△2,991
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,454,246	△1,271,277
現金及び現金同等物に係る換算差額	△156	△61
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	363,811	△1,250,085
現金及び現金同等物の期首残高	10,597,844	9,542,682
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,961,656	8,292,597

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パソコン等 販売事業	インターネット 関連事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	19,549,765	607,953	20,157,719	—	20,157,719
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	254	570,727	570,981	△570,981	—
計	19,550,020	1,178,680	20,728,701	△570,981	20,157,719
セグメント利益	1,321,087	220,304	1,541,392	△214,763	1,326,628

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の受取配当金消去△211,480千円を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パソコン等 販売事業	インターネット 関連事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	18,652,559	607,612	19,260,171	—	19,260,171
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	523,553	523,565	△523,565	—
計	18,652,570	1,131,165	19,783,736	△523,565	19,260,171
セグメント利益	1,412,763	228,544	1,641,307	△210,040	1,431,266

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の受取配当金消去△211,480千円を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)  
該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

## 4. 補足情報

販売の状況

(商品別売上高)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		前年同期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
<b>[パソコン等販売事業]</b>					
パソコン本体等	1,970,920	9.8%	1,947,801	10.1%	98.8%
周辺機器	1,762,421	8.7%	1,876,289	9.7%	106.5%
アクセサリ・サプライ	867,544	4.3%	781,808	4.1%	90.1%
ソフト	246,152	1.2%	235,035	1.2%	95.5%
中古品・その他	2,000,064	9.9%	2,221,772	11.5%	111.1%
商品売上高計	6,847,103	34.0%	7,062,706	36.7%	103.1%
ロイヤリティー他収入	32,285	0.2%	30,413	0.2%	94.2%
ソリューションサービス売上高	12,670,376	62.9%	11,559,439	60.0%	91.2%
計	19,549,765	97.0%	18,652,559	96.8%	95.4%
<b>[インターネット関連事業]</b>	607,953	3.0%	607,612	3.2%	99.9%
合計	20,157,719	100.0%	19,260,171	100.0%	95.5%

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引については相殺消去しております。

3. ロイヤリティー他収入の対象となるフランチャイズ店売上高は前第2四半期連結累計期間 559,382千円、当第2四半期連結累計期間 570,364千円であります。

4. ソリューションサービス売上高には、サービス一体型商品に含まれる商品売上高を計上しております。